

仙台スタートアップ・エコシステム
推進拠点活動報告



TOHOKU
UNIVERSITY

東北大学の取り組み

スタートアップ・エコシステム推進拠点
都市における役割と貢献

2022年7月

東北大学発ベンチャーの創出





東北大学独自のシームレスなベンチャー支援システム

アントレプレナーシップの育成

事業性検証を支援

大学発ベンチャーへの投資

アントレプレナーシップ 育成プログラム

東北大学に起業文化を醸成するために、
学生・研究者向けに多様なプログラムを
実施（令和2年度受講者1,287名）

- 企業家リーダー育成プログラム
- ジャパンバイオデザイン東北プログラム
- スタートアップ基礎講座
- e起業塾（e-learning30講座）
- ゼロイチゼミ
- 東北大学ビジネスアイデアコンテスト
- アイデアソン（第一生命×NTTデータ）

東北大学ビジネスインキュー ションプログラム（BIP） 2013年から開始

BIP 公募情報

ギャップファンド
マッチングファンド

84件を支援

（①マッチングファンド、②ギャップファンド）

- ① 重点 3,000～6,000万円：11件
- ② 育成 500万円：68件
150～200万円：5件（2022年度）

▶84件中 **26社が起業へ**

東北大学 ベンチャーパートナーズ 2015年2月設立



TOHOKU University
Venture Partners
Co., Ltd.

第1号ファンド2015年8月組成
（96.8億円、10年）26社投資
第2号ファンド2020年10月組成
（78億円、10年）8社投資

新規上場3社

1・2号合計で34社（内 BIP8社）に投資

東北大学スタートアップガレージ（起業家育成プロジェクト）



- 常設コミュニティスペース（青葉山ガレージ・川内ガレージ）で起業を志す仲間と交流
- 起業塾・ピッチイベントを開催
- 大学シーズと企業とのマッチングを支援
- VC・金融機関と連携し資金調達を支援
- メンターが起業相談や立ち上げを全カサポート
- OBOG・アドバイザー陣がバックアップ
- スタートアップカフェ

東北大学に起業文化を醸成し、東北大学ベンチャーを多数創出！！

東北大学発ベンチャー企業の創出状況

これまでのシームレスなベンチャー支援の取組みにより、東北大学発ベンチャー企業の創出が加速 ➡ 2030年までにプラス100社創出をめざす

東北大学発ベンチャー企業数

157社 (2021年度)

全国トップクラスの創出数 (第6位)

出典：経済産業省 令和3年度産業技術調査
(大学発ベンチャー実態等調査(2022.5.17))

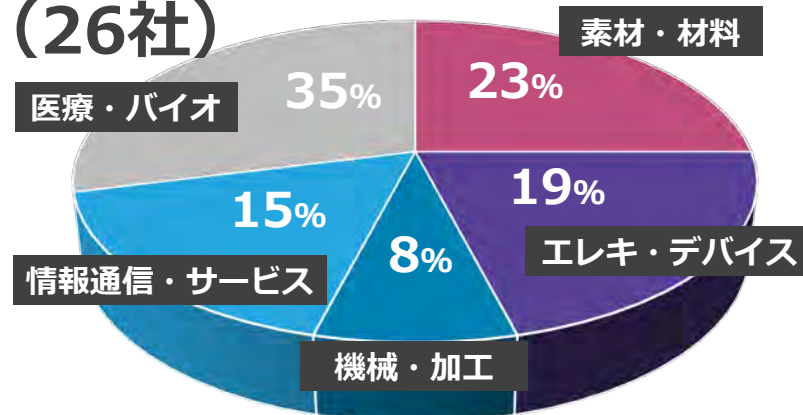
国内未上場スタートアップ企業 時価総額ランキング

**上位20社のうち2社が東北大学発ベンチャー
(1社がユニコーン企業)**

- ▶ クリーンプラネット
(新水素エネルギーの実用化研究：想定時価総額8位)
- ▶ ispace
(月面探査プログラム：想定時価総額13位)

出典：STARTUPDB (2022.4.1時点)

THVP-1号ファンド投資状況 (26社)



東北大学の強みである**素材・材料**、**エレキ・デバイス**等
ものづくり企業はもとより、**医療・バイオ**、**情報通信・サービス**等、多様な業種の東北大学発ベンチャーに投資。

IPO3件

- ▶ 2020年12月28日東証マザーズ上場
「クリングルファーマ株式会社」
- ▶ 2021年9月24日東証マザーズ上場
「株式会社レナサイエンス」
- ▶ 2021年12月24日東証マザーズ上場
「サスメド株式会社」

事業性検証を支援

これまでに**84件を支援** ▶ **26社が起業へ**



主な開催セミナー・イベント①



▶東北大学ビジネスアイデアコンテスト(2017年度～毎年度開催)

2021年度は、東北大学と仙台市、中小企業基盤整備機構、東北大学ベンチャーパートナーズが連携し、KDDIやあずさ監査法人、農林中央金庫等多数の協賛・協力のもと、東北大学の学生を対象に独自のビジネスプランについてピッチ（プレゼンテーション）を行い、起業家や投資家等のプロの目による審査により競い合う機会を提供。応募19件の中から8件をファイナリストとして選抜した。最優秀賞は、チーム「Morbido」（村上聡さん（工学部1年）と斉藤依緒さん（工学部4年））の「動物の毛皮のような手触りで立体表現が可能 な入出力デバイスを用いたスマートファニチャの販売」に決定。チーム「Morbido」には、最優秀賞30万円が事業化支援資金として贈られる。200名が参加。



▶東北大学スタートアップカフェ（2020年度～毎年度開催）

独創的な研究成果を次々と生み出す研究者、スタートアップ業界の第一線で活躍するOB・OG、起業を目指す情熱を持つ教職員・学生、そしてそれらを支援する学内外の支援関係者同士がよりカジュアルに交流できる場として、「東北大学スタートアップカフェ」を開催。

東北大学発ベンチャーが登壇し、事業内容や目指すゴール等を語る「最新の東北大学発ベンチャーの動向」や支援者・投資家等による「最新のスタートアップ業界の動向」に関するパネルディスカッションを実施。

新型コロナウイルス感染症対策でオンライン開催としたことにより、東京圏のVC・起業家等との接触機会が拡大。

2020年度：10回開催、2021年度：3回開催



主な開催セミナー・イベント②



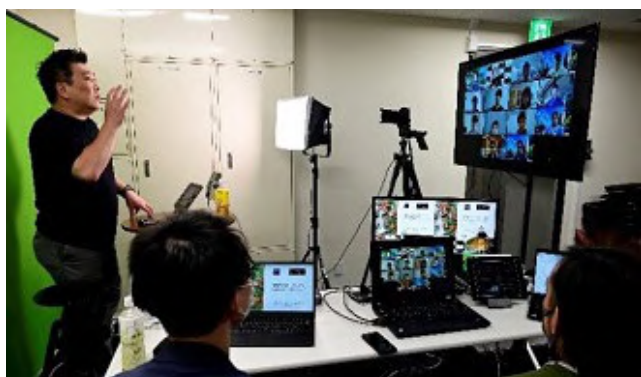
▶ Falling Walls Ventures Qualifier Sendai (2016年度～毎年度開催)

ドイツ・ベルリンで毎年開催されている科学を基礎とした優れたスタートアップのピッチコンテスト出場権をかけた**日本予選会を東北大学が実施**。
2021年度は、英語でのプレゼンテーションによる選考により、AZUL ENERGY株式会社が優勝。



▶ 東北インデペンデンツクラブ (2017年度～毎年度開催)

起業家とその企業成長を支援するサポーターやインベスターで構成されるベンチャーコミュニティ「インデペンデンツクラブ」にて、東北大学発ベンチャーによるプレゼンと参加者とのマッチングの機会を提供。



▶ AgTechアイデアソン～食農×テクノロジー (2020年度～毎年度開催)

東北大学と一般社団法人AgVenture Lab（農林中金のアクセラレーター）がコラボしてAgTechに関するアイデアソンを開催。研究成果を活用した事業開発に向けたアウトプットを行う機会を創出。



▶ 第一生命×NTTデータ×東北大学アイデアソン (2020年度～毎年度開催)

第一生命、NTTデータ、東北大学の3者の組織的連携を基に、アントレプレナーシップの醸成を目的にWell-beingの実現をテーマとして、将来にわたる全ての人々の幸せへの貢献、100年後を見据えた持続的社会的実現に対して、どのようなサービスを必要としているのかを考えてもらうアイデアソンを開催。



スタートアップ・ユニバーシティ宣言

今後、新産業創出や地域活性化が求められる中で、社会変革の原動力となるスタートアップの創出とアントレプレナーシップ育成が必須

➡ 2020年10月29日に **スタートアップ・ユニバーシティ宣言** を行い、以下の取り組みを実施

1

ベンチャー創出支援パッケージ 創設

- ① 東北大学アクセラファンドを創設、本学ビジネスプランコンテスト（2020年12月開催）の優秀者に事業化支援資金を提供し、2021年2月に起業((株)ElevationSpace)
- ② 東北大学版EIR（住み込み起業家）本学シーズを活用した起業を支援、一人目が起業済、二人目が活動中
- ③ 東北大学スタートアップ・アルムナイ（同窓会起業家クラブ）を組織化、SNS開設

2

広域的な大学発ベンチャーファンド 設立

- ① 産業界・金融機関・関係省庁・地公体等と強く連携し、シームレスなベンチャー支援の仕組みと経験を新潟を含めた東北7県の大学に共有する東北地域ベンチャー支援エコシステム連絡協議会を設立
- ② これまで8社に投資実行し、うち1社は弘前大学関連ベンチャー



起業を目指す学生を支援

① 学生アクセラファンド

東北大学アクセラファンドを創設し、事業化支援資金を提供
アクセラレーションプログラムの展開により起業をサポート



東北大学
**ビジネスプラン
コンテスト**

東北大学ビジネスプランコンテスト（2020年
12月開催）の優秀者に事業化支援資金を提供し、
2021年2月に起業

(株) ElevationSpace

(代表取締役 小林稜平、CTO 栗原聡文)

※小型人工衛星の知見を活かし、人工衛星内で実験や製造等を行うことのできる小型宇宙利用・回収プラットフォーム
ELS-Rを開発



代表取締役 小林稜平
(東北大学工学研究科修士2年)



② 東北大学版EIR、スタートアップ・アルムナイ

- ・ 東北大学版EIR（住み込み起業家）本学シーズを活用→一人目が起業済、二人目が活動中
- ・ 東北大学スタートアップ・アルムナイを組織化→SNSを開設



東北地域の広域的な大学発ベンチャーファンド

9

- 2020年10月にTHVP- 2号ファンドを設立
主な投資先を本学をはじめとした東北の
国立大学発ベンチャーに拡大

これまで4社に投資実行し、うち1社は
弘前大学関連ベンチャー「Epigeneron」
(エピジェネロン、東京)

- 東北大学が構築したシームレスなベン
チャー支援の経験を新潟を含めた東北7
県の大学に共有する**東北地域ベンチャー
支援エコシステム連絡協議会**を設立
(2021年2月)

**科学技術振興機構の新産業創出プログラム
(JST-SCORE) を活用しベンチャーを創出**
(2021年3月採択：1年間 2.5億円)

※科学技術振興機構＜社会還元加速プログラム（SCORE）大学推進型（拠点
都市環境整備型）＞人材の育成とスタートアップ創出取組への環境整備支援費

東北地域ベンチャー支援エコシステム連絡協議会

東北6県+新潟の国立大学

- 東北6県(宮城以外)
- 宮城



東経連
ビジネスセンター

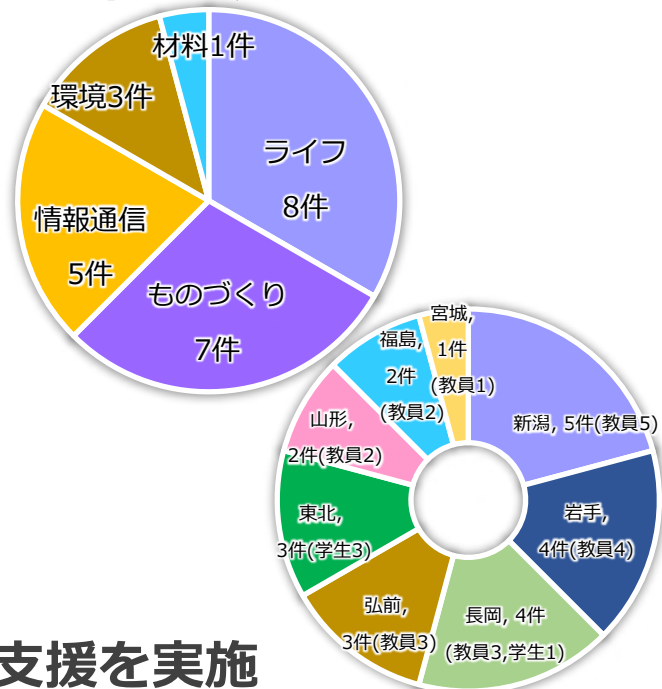
経済産業省
東北経産局



産業界
金融機関
関係省庁
地公体等



- JST-SCORE（2021年3月採択：1年間 2.5億円）を活用し、
みちのくギャップファンドを設置（24件始動、1件500万円以内を助成）
- 東北大学が構築したシームレスなベンチャー支援の仕組みや経験を新潟を含めた東北6県・新潟の大学へ展開



- 起業に向けた準備の一環として、充実した伴走支援を実施



採択者の成果発表とビジネス・資金調達等のマッチング促進のため
にVC・事業会社等を招いてDEMO DAYを開催



ビジネスプランコンテストを岩手大学にて開催（2022年1月8日-9日）